(9) 日本国特許庁 (JP)

① 特許出願公開

[®] 公開特許公報(A)

昭58-88323

60Int. CL3 A 61 K 37/18 A 23 L 1/34 # A 61 K 31/195 庁内整理番号 7138-4C 6971-4B 6408-4C

3分開 昭和58年(1983)5月26日

発明の数 2 審査請求 未請求

(全 4 頁)

郊乳幼児用成分栄養組成物

20特 願 昭56-185508

22/H 願 昭56(1981)11月20日

⑩発 明 者 中山健太郎

東京都大田区南千束3-19-18 ⑫発 明 者 小林昭夫

識別記号

町田市つく1.野4-15-22

70 発明者 土屋文安

所沢市北所沢町2269-30 72発 明 者 山本良郎

東村山市本町 2-14-12

切発 明 者 米久保明得 所沢市上新井字杉の内1158-55

勿出 願 人 財団法人糧食研究会 東村山市栄町1-21-3

⑩代 理 人 弁理士 戸田親男

1 発明の名称 乳幼児用皮分类睾胡皮物 2.特許請求の範囲

(1) 炭水化物、脂肪、ピタミン、ミネラル及び 下配の組成のアミノ微からたる乳幼児用成分 栄養組成物。

アミノ酸 重量系		\$	
L-トリナ	アトフアン	175~	2.5 7
L-スレオ	ニン	4.55~	5.8 5
L-イソロ	イシン	5.64~	7.62
L-ロイシ	· >	8.64~1	1.70
L - リジン		7.14~	9.66
レーメチオ	ニン	2.25~	3.05
L・システ	· >	2.29~	3.09
L-フエニ	ルアラニン	3.20~	4.52
L-チロシ	· >	4.57~	619
L・バリン		5.02~	479
L - Tx*	ニン	4. 5 3 ~	5.8 5
L・ヒステ	ジン	251~	3.39

1. - アラニン 4.07~ 5.51 L・アスパラギン酸 5.64~ 7.62 L-グルタミン酸 1 0.7 2 ~ 1 4.5 0 かリシン 4.07~ 5.51 1. - プロリン 408~ 8.22 L-セリン 4.07~ 5.51

(2) 炭水化物、脂肪、ビタミン、ミネラル及び 下配の組成のアミノ酸、更にイノシット10 ~209多からなる乳幼児用成分栄養組成物。

100

アミノ俊	重量 #	
L-トリプトフアン	175~ 257	
L - スレオニン	4.33~ 5.85	
L・イソロイシン	5.64~ 7.62	
L - ロイシン	8.64~1170	
L-リジン	7.14~ 9.66	
L・メチオニン	2.25~ 3.05	
L・システン	229~ 309	
L-フエニルアラニン	3.20~ 4.52	
L-テロシン	4.57~ 619	

L・バリン	5.02~ 679	
L - アルギニン	4. 3 3 ~ 5. 8 5	
L-ヒステジン	251~ 559	
L・アラニン	407~ 551	
L - アスパラギン酸	5.64~ 7.62	
L - グルタミン酸	1 0 7 2 ~ 1 4 5 0	
グリシン	4.07 ~ 5.51	
L - プロリン	608~ 8.22	
L-セリン	4.07~ 5.51	
S †	100	

5.発明の幹細な説明

本発明は新規を乳幼児用成分栄養組成物に関するものである。

更に詳細には、本発明は、消化表収性の良い乳 幼児用成分栄養組成物に関するものである。

一般に、乳効児が極重の所化不良、牛乳アレル ポー、大豆アレルギーや機能性下痢などの症状を 起こしているときは蛋白質の簡単、手間をはなり、 休力が低下する。また、手間物、手間をは、栄養 管理のために、より消化級収のすぐれた尿分栄養 組成物を投与することが必要となつてくる。

本発明者らは、すぐれた補化欲収性の見効児用 成分栄養組成物を求めて長年研究した結果、本発 明れた成分現実組成である。 化欲収性がきわめてすぐれた成分栄養組成物を見 出すれ張つた。

本発明は、基本的には、炭水化物、脂肪、ピタミン、ミネラル及び下配の組成のアミノ酸からを る乳効児用成分栄養和広物である。

るれ切た川瓜が米養組瓜物じむる。		
アミノ酸	重量 5	
L - トリプトフアン	1.75~ 2.37	
L-スレオニン	4.33~ 5.85	
L - イソロイシン	5.64~ 7.62	
L - ロイシン	8.64~11.70	
L - リジン	7.14~ .266	
L - メチオニン	2.25~ 3.05	
L - シスチン	2.29~ 3.09	
L - フエニルアラニン	320~ 432	
L-チロシン	4.57~ 619	
L - パリン	5.02~ 679	

R t	100	
L-セリン	4.07~	5.51
レープロリン	6.08~	8.22
グリシン	4.07~	5.51
L - ダルタミン酸	1 0 7 2 ~ 1	4.50
L・アスパラギン酸	5.64~	7.62
L - アラニン	4.07~	5.5 1
L-ヒステジン	2.51~	3.59
L-アルギニン	4.3.5 ~	5.85

そして本発明は、悪本的組成化、更にイノシット 10~20 写多が影加された乳幼児用成分栄養組成物である。

本発明の特色とするところは、成分栄養組成物 中に含有せしめられるアミノ酸が次の銀成からな ることにある。

アミノ酸	11,	
L-トリプトフアン	1.75~ 237	
L・スレオニン	4.33~ 5.85	
L-イソロイシン	5.64~ 7.62	
L - ロイシン	8.64~1170	

L - リジン	7.14~ 9.66
L・メチオニン	2.25~ 3.05
L - シスチン	2.29~ 3.09
L - フエニルアラニン	3.20~ 4.32
L - チロシン	4.57~ 6.19
レーバリン	502~ 679
L-アルギニン	4.33~ 5.85
L - ヒステジン	251~ 339
L-アラニン	4.07~ 5.51
L-アスパラギン酸	5.64~ 7.62
L - グルタミン康	1 0 7 2 ~ 1 4 5 0
グリシン	4.07~ 5.51
L - プロリン	608~ B.22
L - セリン	4.07~ 5.51
Bt	100

本発明におけるアミノ酸組成は、人母乳中の資 白質を加水分解した結果得られるアミノ酸の駅以 に近似させてはいるが、利用性の劣るダルタ1を 歌、アスパラギン酸等の酸性アミノ酸は新加量を 減少させ、乳効児にとつてよりすぐれたアミノ酸 組成とされたものである。 不発明にかけるアミノ 酸は一般に遊離形で使用されるが、 リジンやアル ポニンはリジンダルタメート又はアルギニンダル タメートの形で1部使用されるのが好ましく、ま た、 ヒステジンは塩酸塩で、 アスペラギン酸はナ トリ ウム塩で使用するのが好ましい。 上配組成は 離形であるので、 これら塩は避離形を高体にし で携集されるものである。

本発明組成物中化占めるアミノ酸含量性5~16 重量多で、その他は、炭水化物、脂肪、ビタミン、 ミネラルから成つている。本発明化かいに、炭 水化物としては消化板収性の良い可得性多額類 (デキストリン)、腹軸、ぶどり類等重ちにエネ ルギー版となるものを単数でまたは割み合わせて 使用され、その使用量は64~81重量多である。 又、本発明に使用する敷肪としては、例えばサフ ラワー油、コーン前、大豆油、ナン油等の植物性 他、ブード等の動物性油、並びにMCT油 (Midium - Chain - Trigityeeride)等が採用される。その使用量は1~18重量多である。

ダネシウム塩および塩化物、塩化ナトリウム等の ナトリウム塩、ダリセロリン酸カルシウム、炭酸 カルシウム、塩化カルシウム等のカルシウム塩お よびリン酸塩が使用される。ミネラル全体の使用 量は2~3 重量が程度である。

不発明は、更に、基本的成分栄養組成物にイノシットを10~20単系、好ましくは約15 単等 筋加してする成分栄養組成物でもある。イノン、 トを10~20 単系的加した成分栄養組成物は、 投与されたとき、グルタミン酸メキサロ酢は、 アンスアミナーゼ(以下GOTという)及びダルタミン 酸ピルピン酸ドランスアミナーゼ(以下GPT という)を正常化する傾向を持ることができ、正 常化しないまでもGOT及びGPTの上昇を軽減に 倒めることができるものである。これは、乳効別 の肝機能を正常に維持することがイノシットの ある。

本発明の乳幼児用成分栄養組成物は粉末状に進 合調整されているので投与膝には極端で156w/V また、本発明において、アミノ酸と励動の系を 乳化させる為にシュガーエステル、モノダリセリ ド、レンナン等を使用し、乳化し、均偏化するの が好ましい。

本発明に使用するビタミンとして社、FAO/WHO合向表品規格計画Codex表品規格委員会CAC RS72-1976乳光期制製乳の動告的版規格 (以下動告規格という)を満たせる当たビタミ ンA、B₁、B₂、B₃、B₃、C、D、E、K₁、ペン トテン歴、ニコチン酸、藻酸、ビオチン、コリン (レジナンで代用することもできる)等が使用さ れる。ビタミン製金体の使用量は 0.1 重量多程度 で十分である。

本発明に使用されるミネラルとしては、動告規格を満たせるように、健康第一鉄、コハタ康タエ 変換がナトリウム等の鉄塩、健康網等の網塩、 腰亜剤、塩化亜鉛等の亜鉛塩をよび塩化物、酢酸 ガン等のマンガン塩、酢酸コパルト等のコパ トト塩、ヨウ化カリウム、炭酸カリウム等のマ ウム塩をよびョウ化物、塩化マグネシウム等のマ

の最度に水、牛乳、調整牛乳等に高かして投与さ れる。投与は経口投与、経腸投与のいずれてもよ い。

本発明の乳効児用成分栄養組成物は、乳効児の 食欲不扱、難治性下痢症、蛋白負消化表収不全症、 有前額核の栄養管理等にかける対処に投与して、 もわめて有効である。

次に本発明の実施例を示す。 実施例 1.

次に示す物質を均一に粉体混合した。

L-アスパラギン酸ナトリウム	0.483 #
L-アスパラギン酸	0.4819
L - ヌレオニン	0.690 #
L - バリン	0.8 0 0 9
L - プロリン	0970#
グリシン	0.650 #
L-アラニン	0.650 9
L - システン	0.3659
L - メチオニン	0.360 #
L - イソロイシン	0.690 #

特別8358-88323(4)

		144440	30 00025 (-)
L - ロイシン	1580 #	塩酸チアミン (VB ₁)	0.72 🖦
L-フエニルアラニン	0.510#	塩酸ピリドキシン(VB。)	0.43 🚧
L - リジングルタメート	2.537#	アスコルピン酸(VC)	5 5.0 0 🎓
L・アルギニン	0.5547	兼 敬	0.24 🕸
L - アルギニングルタメート	0.6575#	ペントテン酸カルシウム	2.4
L-トリプトファン	0.280#	ピオテン	30 #9
レーセリン	0.650 #	クエン酸コハク酸鉄ナトリウム	8 0.0 🗬
L・チロシン	0.730#	ョウ化カリウム	0.11 🖦
L-ヒスチジン塩銀塩	0.4814#	グリセロリン酸カルシウム	14245 📭
L・ダルタミン酸	0.2627	塩化マグネシウム大水塩	352.0 🖦
サフラワー袖	100 #	塩化ナトリウム	198.2 🖦
JE 10	48.00 #	炭酸カルシウム	3 D O.O 🖦
可溶性多糖類	3200 #	水酸化ナトリウム	1 5.8 🛶
ニコチン酸アミド	6.00 m²	炭酸 カリウム	795.0 🖦
イノシット	1 5.0 0 m#	粉末レシテン	167.0 🖦
リポフラビン	9 1 7.0 D and	シュガーエステル	8 5.0 🤫
シアノコバラミン(V.B ₁₂)	45 ##	モノグリセリド	42.0 🥦
41-0-13720-2	7.2 🖦	健康佣五水塩	1552=9
ピタミンAとピタミンDの混合物	5.9 📦	塩化亜鉛	5.1 5 🤫
ピタミンK _i	67 #P	酢酸マンガン四水塩	0.669=9

酢酸コパルト四水塩 0.211号 上配組成物を155W/Vで40での水に酵解し、 経口的又は経験的に乳効児に投与した。

代理人 弁理士 芦 田 瀬 男

DERWENT-ACC-NO: 1983-702280

DERWENT-WEEK: 199002

COPYRIGHT 2010 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Nutritive compsn. for infants contains carbohydrate

(s), fats, vitamin(s), minerals, amino acids and

inositol

INVENTOR: KOBAYASHI A; NAKAYAMA K; TSUCHIYA F; YAMAMOTO

Y; YONEKUBO A

PATENT-ASSIGNEE: ZH RYOSHOKU KENKYUK[RYOSN]

PRIORITY-DATA: 1981JP-185508 (November 20, 1981)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO PUB-DATE LANGUAGE

JP 58088323 A May 26, 1983 JA JP 89057943 B December 8, 1989 JA

APPLICATION-DATA:

PUB-NO APPL-DESCRIPTOR APPL-NO APPL-DATE

JP 58088323A N/A 1981JP- November 20,

185508 1981

INT-CL-CURRENT:

TYPE IPC DATE

CIPP A61K31/195 20060101

CIPS A23L1/305 20060101
CIPS A23L1/48 20060101
CIPS A61K38/00 20060101

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 58088323 A

BASIC-ABSTRACT:

Nutritive compsn. for infants contg. carbohydrates, fats, vitamins, minerals, and amino acids, and additionally 10-20 mg% inosit (pref. 15 mg%). The amino acids are L-tryptophan 1.75-2.37, L-threonine 4.33-5.85, L-isoleucine 5.64-7.62, L-leucine 8.64-11.70, L-lysine 7.14-9.66, L-methionine 2.25-3.05, L-cystine 2.29-3.09, L-phenylalanine 3.20-4.32, L-tyrosine 4.57-6.19, L-valine 5.02-6.79, L-arginine 4.33-5.85, L-histidine 2.51-3.39, L-alanine 4.07-5.51, L-aspartic acid 5.64-7.62, L-glutamic acid 10.72-14.50, glucine 4.07-5.51, L-proline 6.08-8.22, L-serine 4.07-5.51, (total 100) wt.%. The amino acids are 5-16 wt.% of the compsn., carbohydrates 64-81 wt.%, fats 1-18 wt.%, vitamins about 0.1 wt.%, minerals 2-3 wt.%. The amino acids are used as free states. But pref. some lysine and arginine are used as lysine glutamate and arginine glutamate, and histidine is as HCl salt, aspartic acid is as Na salt. Emulsifying and homogenisation of the amino acids and fats are pref. performed with sugar ester, monoglyceride, or lecithin. Adding inosit normalises amt. of GOT and GPT, i.e. normalises liver function. The compsn. prepd. as powder, is administrated from oral or rectal by dissolving in water or milk (15% WV/).

This compsn. has effect for infantile anorexia, diarrhea, dyspepsia of protein, and nutritive supervision at pre-, post-operation. This compsn. is easily digested and absorbed, and has equal compsn. with breast milk. But amount of inferior utility acidic amino acids, such as glutamic acid and aspartic acid, in breast milk is reduced at this compsn.

TITLE-TERMS: NUTRIENT COMPOSITION INFANT CONTAIN

CARBOHYDRATE FAT VITAMIN MINERAL AMINO ACID

INOSITOL

DERWENT-CLASS: B05 D13

CPI-CODES: B03-L; B04-B01B; B04-C02; B04-D01; B04-D02;

B10-B02C; B10-E04A; B12-J01; B12-J04; D03-B11;

D03-H01T;

CHEMICAL-CODES: Chemical Indexing M1 *08* Fragmentation Code

M423 M431 M782 P735 Q211 V772

Chemical Indexing M1 *17* Fragmentation Code M423 M431 M782 P735 Q211 V735 V794

Chemical Indexing M1 *18* Fragmentation Code M422 M431 M782 P735 Q211 V300

Chemical Indexing M1 *19* Fragmentation Code M423 M431 M782 P735 Q211 V793

Chemical Indexing M2 *01* Fragmentation Code H1 H100 H181 J0 J011 J1 J171 M280 M311 M312 M321 M331 M340 M342 M349 M381 M391 M416 M431 M620 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *02* Fragmentation Code H1 H100 H181 J0 J012 J1 J172 M280 M312 M313 M321 M332 M343 M349 M381 M391 M416 M431 M620 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *03* Fragmentation Code H1 H100 H181 J0 J011 J1 J171 M280 M314 M315 M321 M333 M340 M342 M349 M381 M391 M416 M431 M620 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *04* Fragmentation Code H1 H100 H181 H4 H401 H481 H8 J0 J011 J1 J171 M280 M312 M321 M332 M343 M349 M381 M391 M416 M431 M620 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *05* Fragmentation Code H1

H100 H181 J0 J011 J1 J171 K0 L2 L250 M280 M314 M321 M332 M343 M349 M381 M391 M416 M431 M620 M782 P735 O211

Chemical Indexing M2 *06* Fragmentation Code G037 G563 H4 H405 H464 H8 M280 M320 M415 M431 M510 M520 M530 M541 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *07* Fragmentation Code H1 H101 H182 J0 J012 J1 J172 K0 K2 K224 M280 M312 M322 M343 M349 M381 M392 M416 M431 M620 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *09* Fragmentation Code F014 F521 H1 H100 H181 J0 J011 J1 J171 M280 M312 M321 M332 M343 M349 M371 M391 M413 M431 M510 M521 M530 M540 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *10* Fragmentation Code H1 H101 H182 J0 J011 J1 J171 M280 M315 M321 M332 M343 M349 M381 M391 M416 M431 M620 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *11* Fragmentation Code H1 H100 H181 H5 H598 H9 J0 J011 J1 J171 M210 M211 M271 M281 M313 M321 M332 M343 M349 M381 M391 M416 M431 M620 M782 P735 O211

Chemical Indexing M2 *12* Fragmentation Code G010 G100 H1 H100 H181 J0 J011 J1 J171 M280 M312 M321 M332 M343 M349 M371 M391 M414 M431 M510 M520 M531 M540 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *13* Fragmentation Code F012 F423 J0 J011 J1 J111 M280 M320 M413 M431 M510 M521 M530 M540 M782 P735 Q211 Chemical Indexing M2 *14* Fragmentation Code D011 D601 H1 H100 H181 J0 J011 J1 J171 M280 M312 M321 M332 M343 M349 M371 M391 M412 M431 M511 M520 M530 M540 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *15* Fragmentation Code G013 G100 H1 H100 H181 H4 H401 H441 H8 J0 J011 J1 J171 M280 M312 M321 M332 M343 M349 M371 M391 M414 M431 M510 M520 M531 M540 M782 P735 Q211

Chemical Indexing M2 *16* Fragmentation Code H1 H100 H181 H4 H401 H481 H8 J0 J011 J1 J171 M280 M313 M321 M331 M343 M349 M381 M391 M416 M431 M620 M782 P735 Q211

UNLINKED-DERWENT-REGISTRY-

NUMBERS:

; 0080U ; 0104U ;

0114U; 0116U; 0117U;

0187U; 0243U; 0312U; 0480U; 0543U; 1210U;

1221U; 1258U; 1372U; 1409U; 1636U; 1654U;

1655U; 1661U

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: 1983-062864